

2月26日『汚泥燃料化施設試運転』を開始しました

平成23年3月11日の東日本大震災により運転を停止していた県南浄化センター汚泥燃料化施設の復旧工事は、主要機器類の据え付けが完了し、試運転を開始しました。現時点までに放流する水質については震災前の水準に戻っていたものの、下水を処理する過程で発生する汚泥については、脱水を行ったのみで、場外搬出処分をしておりましたが、今般の汚泥燃料化施設の復旧により、汚泥の有効利用となる燃料化物を製造することが可能となります。

汚泥燃料化施設

津波によりほとんどの機能を失った汚泥燃料化施設も完全復旧に向け試運転調整に入りました。



被災状況(全景)



復旧状況(全景)



被災状況(南側壁面)

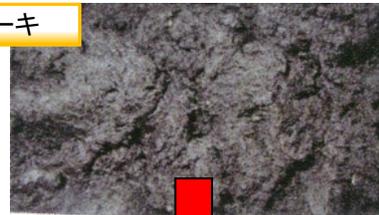


復旧状況(南側壁面)



試運転開始

脱水ケーキ



燃料化物



みやぎの自然環境を守るためにも、また下流域にお住まいの方々のためにも、今後も節水と自然に優しい水利用に、どうか皆様のご協力をお願いします。